

趣 意 書

「(仮称)世田谷まちなか観光交流協会」への移行に向けて

世田谷区は一般的な観光地とは異なり、閑静な住宅街や魅力的な商業施設、豊かなみどり、史跡、文化施設などがあり、常に「住みたいまち」の上位にランクされており、地域の魅力を再発見し、ネットワークとしてつなげていく「住んでよし、訪れてよしのまちなか観光」を進めてきました。平成24年に発足した「世田谷まちなか観光研究会」は、平成25年に「世田谷まちなか観光協議会」へ発展し、産業関連団体相互の連携により、観光に関する情報交換や協働事業等を推進してきました。

2020年オリンピック・パラリンピック開催を4年後に控え、国内外からの来訪者の増加が見込まれ、観光によって地域経済への波及効果や活性化が図られることが期待されています。

「世田谷まちなか観光協議会」がこれまで培ってきた「参加団体・事業者それぞれが主体となり、連携による事業を企画・実施する」という考え方を継承しつつ、事務局機能を担う産業振興公社の体制を強化し、観光のおもてなしを共に担う「(仮称)世田谷まちなか観光交流協会」に発展させ、さらに多くの事業者、団体、個人の参画を頂いて、ネットワークの輪を広げ、民間資源との協力関係を強固にしながら、特に、観光事業を強力かつスピード感をもって推進していきたいと存じます。

皆様方のお力添えをいただき、観光を通じた、世田谷に住み集う人々が誇りと愛着の持てる、魅力的で生活しやすいまちづくりを進めるとともに、多様な人々の交流を促進して、地域の活性化及び産業振興並びに文化の向上を図るため、これまで以上に世田谷のまちなか観光を盛り上げていきたいと存じますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

平成28年6月29日

世田谷まちなか観光協議会

会長 桑島 俊彦

顧問 清水 慎一

世田谷区産業振興公社

理事長 尾崎 護